ワンニャン通信3月号

担当:松本

今回は猫パルボウイルス感染症についてです

猫パルボウイルス感染症とは・・・

●猫のウイルス性疾患の一つで、猫パルボウイルスへの感染が原因となる伝染力が強く死亡率の高いとても怖い病気です。
●猫汎白血球減少症や猫伝染性腸炎などとも呼ばれています。
●特に子猫や若い猫が発症しやすい感染症です。
●血液検査にて白血球の減少が見られた場合や専用の検査キットなどを用いて診断します。

症状

ー食欲不振

ー発熱

ー嘔吐や下痢などの消化器症状　　など

治療

原因となる猫パルボウイルスを直接退治してくれる薬は今現在ありません。
そのため脱水症状の見られる猫には点滴や静脈注射などで水分や電解質、栄養を補ってあげたり、免疫力を高めるためにインターフェロンを投与したりと**対症療法**が主な治療法となります。

予防

●ワクチン

　ワクチン接種は予防にとても有効です。生活環境に関わらず全ての猫に接種することが推奨されている『コアワクチン』の一つでもあります。

●消毒

一般的なアルコールなどの消毒液では効かないため、ハイターなどの塩素系の消毒液などが有効とされています。直接感染猫に接触しなくても感染猫が接触した食器やタオル、感染猫に触った人から他の猫に感染することもあるため消毒はしっかりしましょう。

猫パルボウイルス感染症はとても感染力が強く、命に危険を及ぼすとても怖い感染症です。疑わしい症状が見られる時はすぐに動物病院を受診しましょう。
またワクチンの接種が有効な感染症です。ワクチンについてわからない事があったらいつでもご相談ください。

倉重先生のコラム

パルボウイルスは非常に怖い感染症であり、多頭飼いの場合は最悪複数頭亡くなってしまうこともあります。ほぼ嘔吐がみられるので、嘔吐して元気食欲が無い場合や複数頭嘔吐しているような時は注意が必要です。ワクチンで防御力を高めるとともに、完全に室内飼いするなどで他の猫との接触を極力避けるようにしましょう。